

この日は、今年度最後の平和祈念式で、校長先生からのお話でした。

今日は、本年度最後の平和祈念式で、848回目となります。今日の祈念式には、1年生の皆さんが献花の花を持ってきました。ありがとうございます。

この平和祈念式が始まって、今日で70年と8か月になります。この間、一度も欠かさず、毎月9日に、私たちの先輩方が平和を願い、平和を守っていくという思いを確かめる時間を積み重ねてきたわけです。今年度の祈念式を少し振り返ってみたいと思います。

4月…私が運動場で、2年生から6年生の皆さんにお話をしました。ここでは、内田伯（つかさ）さんの【目から消え去るものは 心からも消え去る】という言葉を紹介し、城山小学校には、「被爆の継承と平和の発信」を行い、「平和は城山から」という思いをもつ責任があることを確かめました。

5月…教頭先生から、「城山国民学校の物語」というポケット紙芝居と、「世界でいちばん悲しいクラス」という絵本の紹介がありました。また、6年生の動画を見ながら「子らのみ魂よ」の練習をしました。

6月…井上先生から「子らのみ魂よ」という曲の意味、この曲が伝えたいことのお話があり、その後、全校で歌いました。

7月…山川剛先生をお迎えして、「被爆体験講話」を聴きました。山川先生が体験したことを、みんな真剣な表情で聞いていました。山川先生からは、皆さんの感想文の内容に感心したとメッセージもいただきました。

8月…体育館で平和祈念式典を行いました。その中で私は、広島市の被爆ポンプの話、カラスザンショウの移設のこと、イタリア在住の音楽家・豊島文さんと、御主人のマッシモさんの平和活動の話をしました。

9月…1年生の先生による「嘉代子桜」の話、10月…2年生の先生による「少年平和像」の話、11月…3年生の先生による「カラスザンショウ」と「双子グス」のお話、12月…4年生の先生による「永井隆博士」の話、1月…5年生の先生による「平和祈念館」の話、2月…6年生の先生による「原爆殉難者の碑」の話を聞きました。

私は、城山小学校で1年間皆さんと過ごしてきて、こうして毎月、原爆や戦争、平和について考え、確かめることで、皆さんが「いたわり はげます 平和な城山小学校」の子どもとして、確実に成長していると感じています。

けれども、この学校という集団の中で、悲しい思いや苦しい思い、嫌な思いをしている人もいます。その多くは、周りのことを考えず、自分の都合を優先させた言葉や行動がもとになっています。みんなで過ごしているわけですから、思い通りにならないことはたくさんあります。そんなとき、周りに迷惑をかけないように、相手を傷つけないようにと考えること、譲り合うこと、我慢することなども必要ではないでしょうか。それが、人を大切にすることであり、本当の「平和な学校」につながっていきます。

今年は、被爆77年目の年になり、城山小学校の平和祈念式は71年目になります。これからも、みんなで一緒に「いたわり はげます 平和な学校」をつくっていきましょう。

この後は、今年度最後の「子らのみ魂よ」を歌います。一人一人、心を込めて歌ってください。6年生にとっては、小学校生活最後です。卒業生として、素晴らしい歌声を在校生に、城山小学校に残してってください。



校長先生の話の後は、「子らのみ魂よ」を全校で歌い、その後、各学年の場所で献花などを行いました。

